



MAP552

IXIL ラシッサ 室内引戸 Vレール方式(引違い) 取付け説明書

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

▲注意



●建付け調整をして、本体と上レールのかかりを5mm以上にしてください。扉が倒れて、ケガをするおそれがあります。

保管・施工前のお願い

- 取付け後の損傷は免責となるので、開梱時に必ず検品をしてください。
製品に不具合があった場合は、取付け前にお買い求め店までご連絡ください。
- 本体は、ソリ・ねじれ防止のため以下の場所には置かないでください。
(直射日光が当たる・昼夜で温度差が激しい・湿気が多い)
- 壁内結露が発生する可能性がある場合は、枠部材に防水処理をしてください。
- 本体部品が損傷し開閉不良の原因になるので、落下させたり衝撃を加えないでください。
- テープを表面シートに貼ると、剥がす際にシートが損傷するので貼らないでください。
- 立て置き of 長期保管はソリ・ねじれの原因となるので、寝かせた状態にしてください。
- 損傷防止のため、本体は建築工事完了後に吊込むことをおすすめします。

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	本体と上レールのかかりは5mm以上ありますか？	☐
2	ソフトモーションは正常に作動していますか？	☐



このマンガはフィクションです。
実在の人物や団体などとは関係ありません。

■部品・部材の明細

※1 枠はノックダウン、本体は完成品

※2 別売品

本体※1		枠※1				ケーシングセット(ケーシングタイプのみ)※2							
		部材名称	2枚建	3枚建	4枚建								
1枚1梱包		鴨居	1	1	1	<table border="1"><tr><th>部材名称</th><th>数量</th></tr><tr><td>横用</td><td>2</td></tr><tr><td>縦用</td><td>4</td></tr></table>		部材名称	数量	横用	2	縦用	4
部材名称	数量												
横用	2												
縦用	4												
2枚建		上レール	1	1	1								
3枚建		縦枠	2	2	2								
4枚建		戸当り	4	6	4								
		枠用部品セット	1	1	1								
		召し合わせパッキン※2	—	—	2								
		引手セット※2		プッシュ錠セット※2									
													

1 開口部の作り方

開口部の作り方上のお願ひ

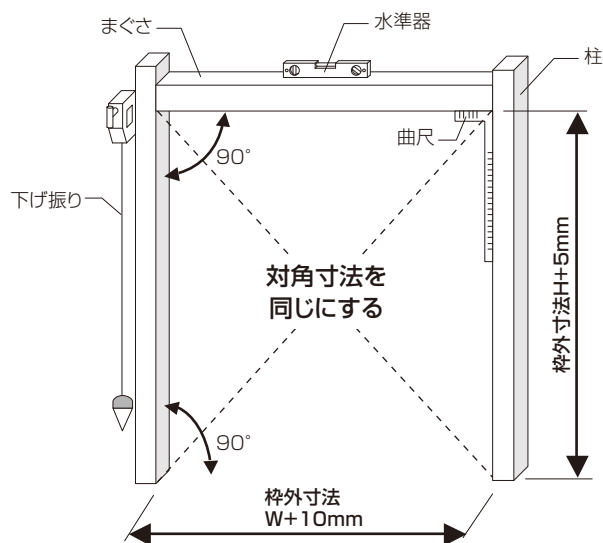
- 製品不具合となるので、全て含水率20%以下の建築材料を使用してください。

【軽量鉄骨に施工する場合】

軽量鉄骨との干渉を避けるため、必ず40mm以上の木枠を入れてください。

- 開口は、枠外寸法に対して高さ：H+5mm、幅：W+10mmで作ってください。

※開口は必ず水平垂直にしてください。



■対応壁厚について

(単位：mm)

ノンケーシング	見込み	対応壁厚
	NC95	64～75
	NC115	76～100
	NC140	101～115
	NC156	116～130
	NC171	131～145
	NC180	146～160

ケーシング	品種	足長さ	対応壁厚
	薄壁用	8	111～121
		14	122～133
		19	134～141
		25	142～152
	厚壁用	8	142～148
		14	149～160
		19	161～170
		25	171～182
	3枚建	8	150～160
		14	161～172
		19	173～180
		25	181～191

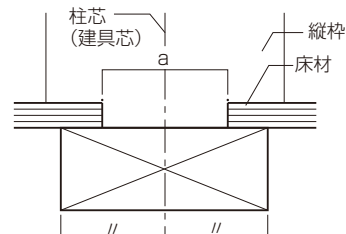
2 床の張り方

床施工上のお願ひ

- 下枠が正しく施工できなくなるので、床を見切る場合は以下を守ってください。
 - ・指定の位置で見切ってください。
 - ・補強材を入れてください。

■ツバ付薄敷居・埋込敷居

- 床材を、下記位置、寸法に合わせてすき間をあけて張ってください。

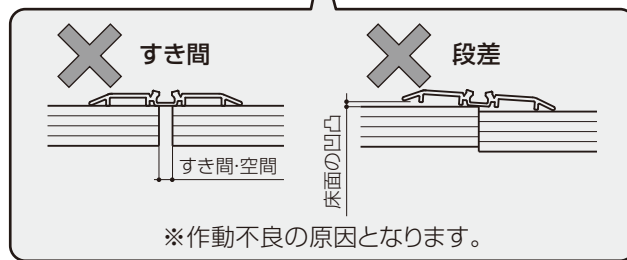
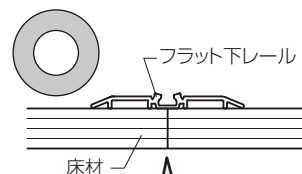


(単位：mm)

		a寸法	
		ツバ付薄敷居	埋込敷居
2枚建 4枚建	NC95	82	60
	NC140	95	
	NC115,ケ付	102	
	NC156	111	
	NC171,180	126	
3枚建		141	100

■フラット下レール

- 床材は段差なく、すき間なく張ってください。



■ツバなし薄敷居

- 床材は後張りです。

3 枠の組立て

枠組立て上のお願ひ

- 枠の垂下がり・ゆがみの原因になるので同梱のねじを使用してください。

- 同梱のねじで枠を組立てます。
※ ツバなし薄敷居の場合はこの手順と一緒に組立てます。
※ NC95、NC115は組立てねじ穴に穴埋めシールを貼ります。

■ 枠部品・部材明細

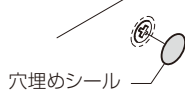
名称	2枚建、3枚建、4枚建 NC140/156/171/180/ケ付	2枚建、4枚建 NC95/115
組立て用 皿小ねじ M4×50	4	4
穴埋め シールシート	—	1

■ ツバなし薄敷居 部品・部材明細 (別売品)

名称	2 枚建	3 枚建	4 枚建
敷居	1	1	1
レール	2	3	2
組立て用 皿小ねじ M4×50	4	4	4

● 穴埋めシールの貼付け

※ NC95/115のみ



穴埋めシール

皿小ねじ
M4×50

縦枠

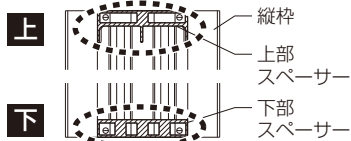
鴨居

縦枠

皿小ねじ
M4×50

ツバなし薄敷居

縦枠の向きに注意!



上

下

縦枠

上部
スペーサー

下部
スペーサー

ツバ付薄敷居の場合は4へ

4 下枠の組立て (ツバ付薄敷居の場合)

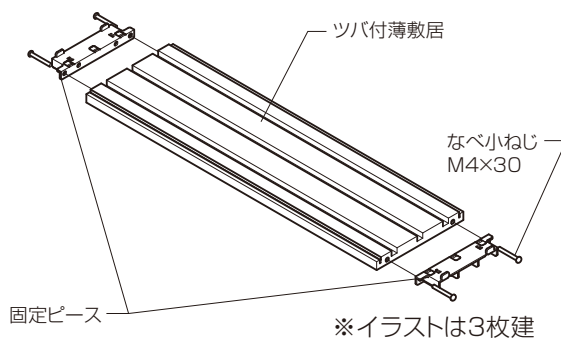
下枠組立て上のお願ひ

- 破損するため、固定ピース取付けねじは強く締め付けしないでください。

- 固定ピースを同梱のねじで薄敷居に固定します。

■ ツバ付薄敷居 部品・部材明細 (別売品)

名称	2 枚建	3 枚建	4 枚建
敷居	1	1	1
レール	2	3	2
ツバ材	2	2	2
固定ピースB	2	—	2
固定ピースC	—	2	—
固定ピース取付け用 なべ小ねじ M4×30	4	4	4



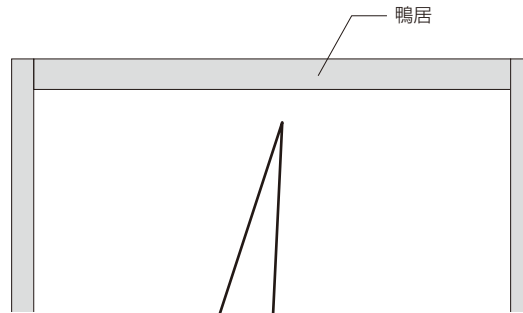
目枠の取付けの準備

下記機種の手には向きがあります。必ず向きを確認して開口部に取り付けてください。

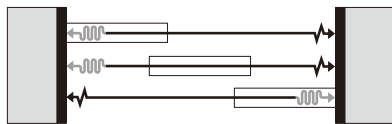
シングル(S)ソフトモーション仕様：引違い戸3枚建／4枚建

ブレーキ仕様：引違い戸4枚建

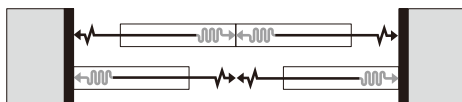
鴨居の図の位置にAまたはBの部品が取付いています。



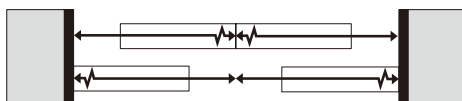
Sソフトモーション仕様 引違い戸3枚建



Sソフトモーション仕様 引違い戸4枚建



ブレーキ仕様 引違い戸4枚建



←〰 A:ソフトモーションが作動

←〰 B:ブレーキが作動



(シングルソフトモーション受け部品)
部品色：グレー



(ブレーキ部品)
部品色：ブラウン

6 枠の取付け

枠取付け上のお願ひ

- 枠の垂下がり・開閉不良の原因になるので下記事項をお守りください。
- ・ コンクリートやモルタルに直付けする場合は設置面に、防水処理をしてください。
- ・ 同梱のねじを使用してください。
- ・ 枠は水平垂直に取付けてください。
- ・ 枠と躯体の間のかい木は表裏に接着剤(現場手配)を塗布してねじ固定部に入れてください。
- ・ 鴨居固定ねじは締めすぎないでください。

■ツバ付薄敷居の取付け

- 接着剤(現場手配)を塗布し、同梱のねじで躯体に取付けます。

■ツバなし薄敷居の取付け

- 接着剤(現場手配)を塗布し、下記手順で躯体に取付けます。

■枠の取付け

- 枠と躯体の間にかい木をいれて縦枠、鴨居を指定のねじで固定してください。
(ツバ付薄敷居の場合：縦枠を固定ピースの突起部に合わせる)

■枠部品・部材明細

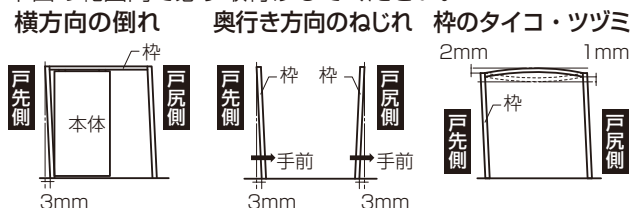
名称	2枚建	3枚建	4枚建
鴨居取付け用 トラスタッピンねじ φ4×50	5	8	8
縦枠取付け用 DNねじ(皿木ねじ) φ3.8×50	6	6	6

■ツバなし／ツバ付薄敷居部品・部材明細

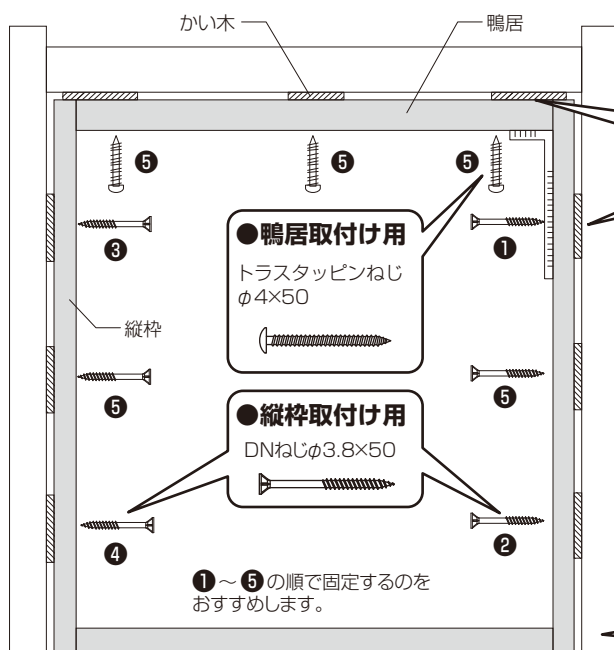
名称	2枚建	3枚建	4枚建
薄敷居取付け用 皿木ねじφ 3.3 × 30	12	12	12

●取付け精度について

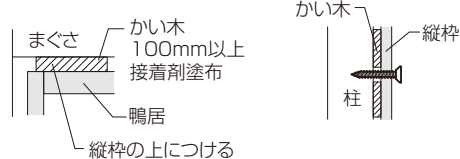
下図の範囲内で必ず取付けしてください。



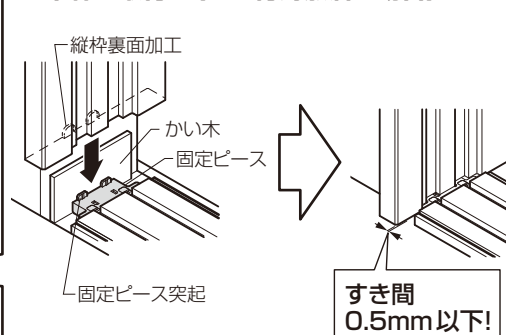
※範囲を超えると作動不良となります。



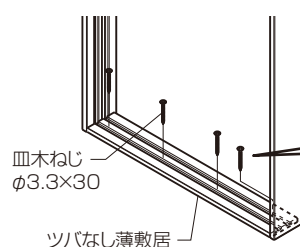
●かい木について



●下枠の取付け(ツバ付薄敷居の場合)

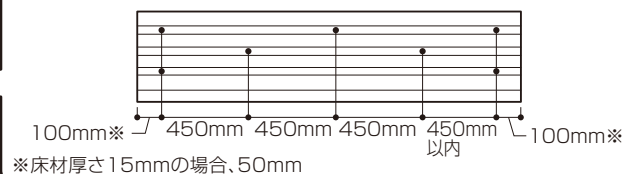


●下枠の取付け(薄敷居共通)



※床材厚さ15mmの場合:下地材t=3mm(現場手配)

●取付けピッチについて(床材厚さ12mmの場合) 固定位置:3枚建の例

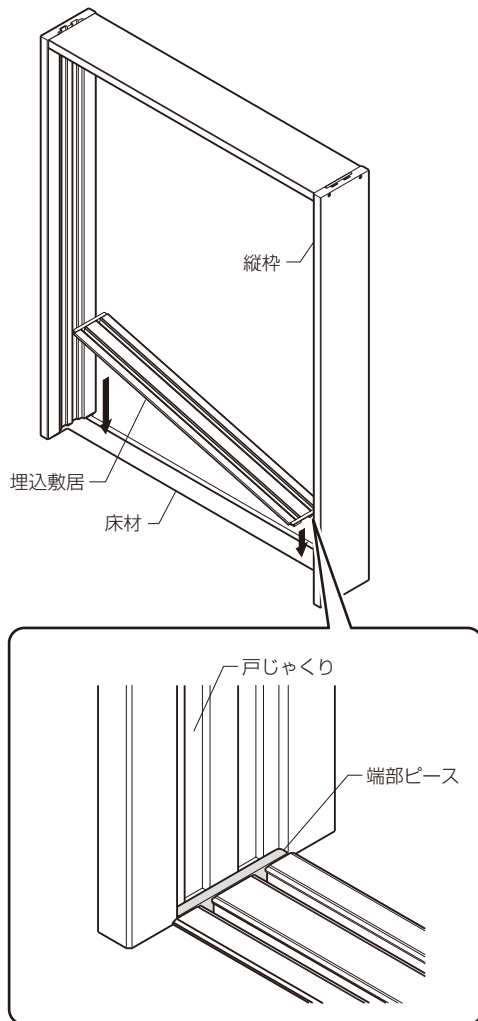


⑥ 枠の取付け(埋込敷居の場合)

●戸じゃくりに端部ピースを合わせて、敷居を固定します。

■埋込敷居 部品・部材明細(別売品)

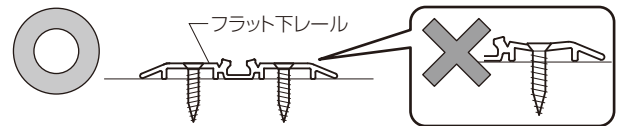
名称	2枚建	3枚建	4枚建
敷居	1	1	1
レール	2	3	2
敷居取付け用 なべタッピンねじφ4×30	6	6	9



⑦ フラット下レールの取付け

フラット下レール取付け上のお願い

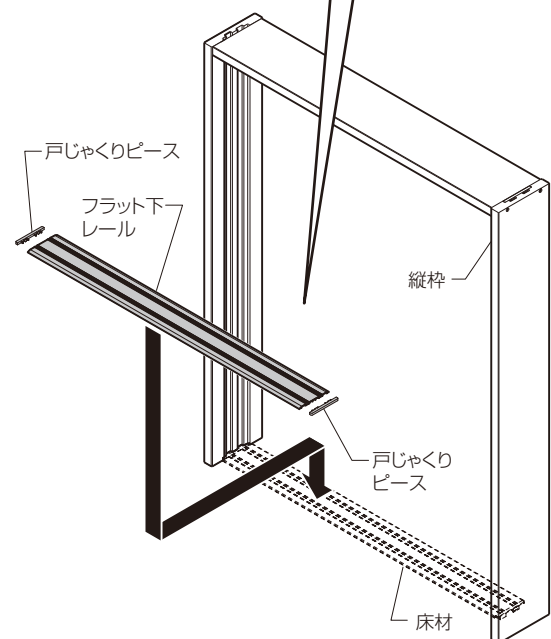
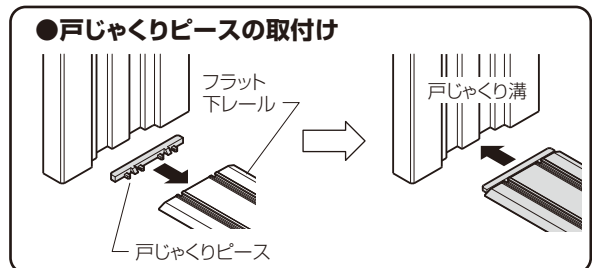
●開閉不良になるので、固定ねじを締めすぎないでください。



- ①戸じゃくりピースをフラット下レールの端部に差し込みます。
- ②戸じゃくりピースを戸じゃくり溝に合わせて、レールを同梱のねじで固定します。

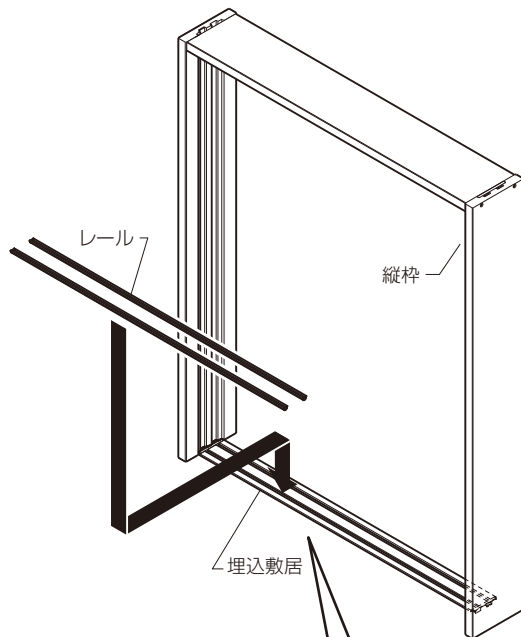
■フラット下レール 部品・部材明細(別売品)

名称	2枚建	3枚建	4枚建
フラット下レール	1	1	1
レール取付け用 皿タッピンねじφ4(D6)×18	14	18	24
戸じゃくり2本用ピース	2	—	2
戸じゃくり3本用ピース	—	2	—

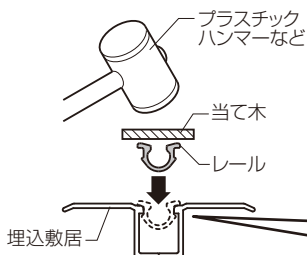


⑧ レールの取付け (埋込敷居・薄敷居の場合)

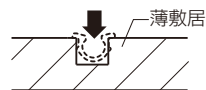
- レールに当て木をしてプラスチックハンマーなどでたたき込みます。



● レールの取付け



● 薄敷居の場合



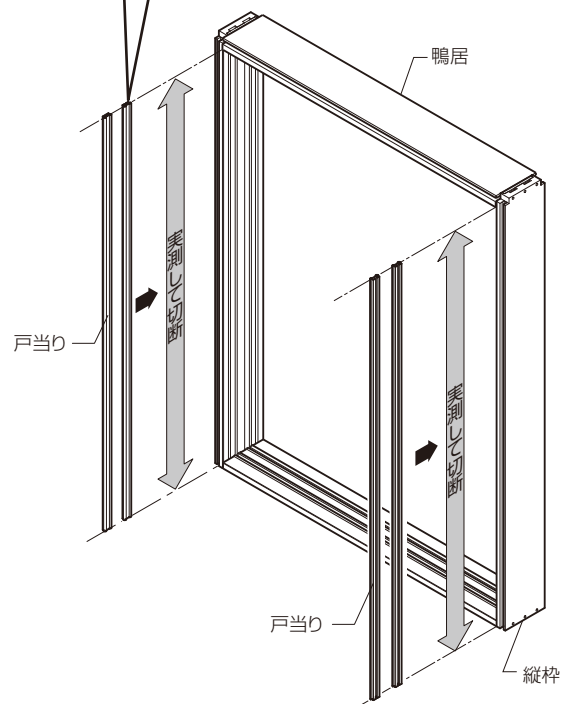
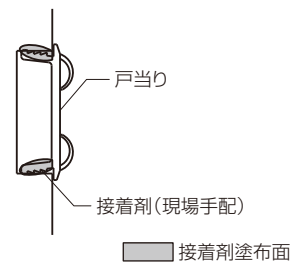
⑨ 戸当りの取付け

戸当り取付け上のお願ひ

- 戸当りが破損するので、必ず当て木をして取付けてください。

- ① 戸当りを実測寸法で切断します。
- ② 戸当り取付け部リップ全面に木工用接着剤(現場手配)を塗布して取付けます。(はみ出た接着剤は必ず拭き取ってください。)

● 戸当り



Ⅲ ツバ付薄敷居の部品取付け

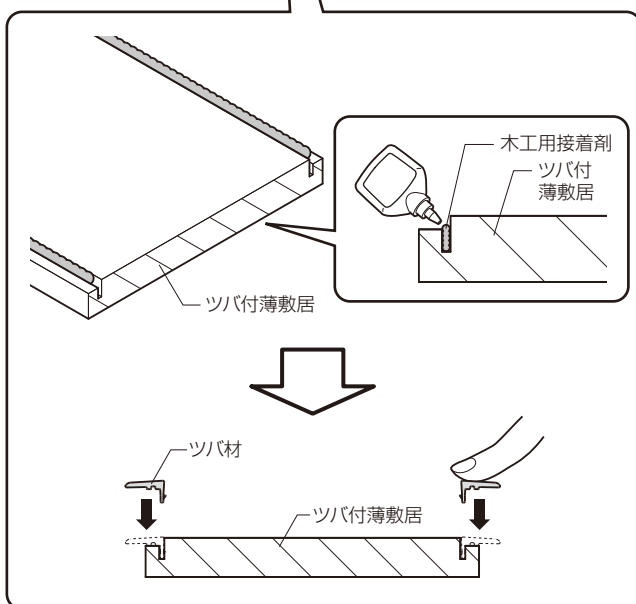
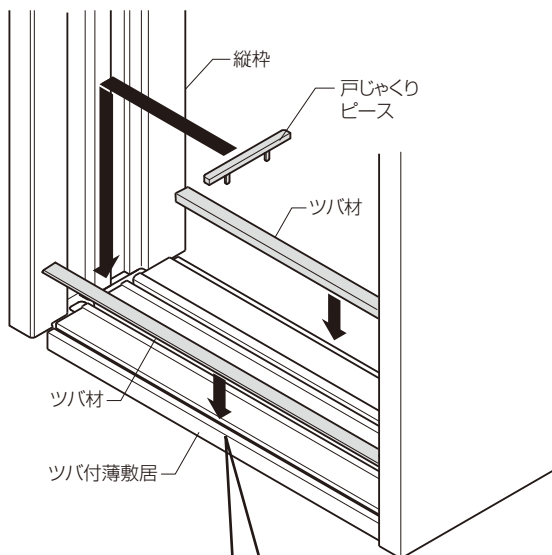
ツバ付薄敷居の部品取付け上のお願ひ

●ツバ材が破損するので、必ず手で押し込んでください。

- ①現場でツバ材の寸法を下枠の長さに合わせて切断します。
- ②溝全長に木工用接着剤(現場手配)をすき間無く塗布します。
- ③ツバ材を手ではめ込みます。(はみ出た接着剤は必ず拭き取ってください)
- ④戸じゃくりピースを縦枠下部の戸じゃくりに差し込みます。

■ツバ付薄敷居用部品・部材明細

名称	2枚建	3枚建	4枚建
戸じゃくり2本用ピース 	2	—	2
戸じゃくり3本用ピース 	—	2	—



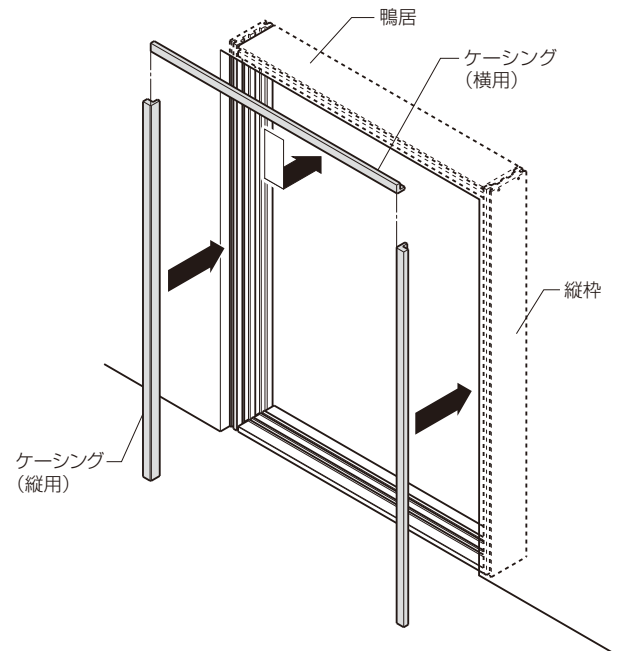
Ⅳ ケーシングの取付け

別売品

ケーシング取付け上のお願ひ

●壁材・床材を仕上げてから取付けてください。

- ①ケーシングを現場寸法に合わせて切断します。
- ②ケーシング裏面と枠のケーシング溝に接着剤(現場手配)を塗布し、固定します。(はみ出た接着剤は必ず拭き取ってください)

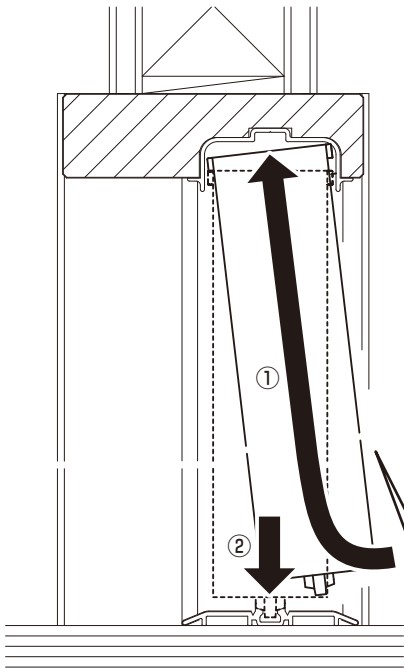


12 本体の吊込み

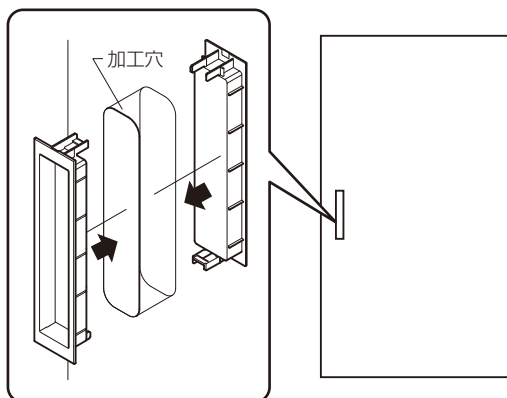
- ① 本体を持ち上げながら、本体上部を上レールに差し込みます。
 - ② 戸車の先端を下レールの溝にはめます。
 - ③ 引手を本体加工穴に押し込み固定します。
- ※ 引手は仮組されているので平行に引き抜いてから取付けてください。

■ 引手セット (別売品)

名称	数量
引手	2



● 引手の取付け



● オプション部品 (錠・バーハンドル) の取付け

各オプションの取付け説明書を参照してください。

13 建付け調整 (本体側)

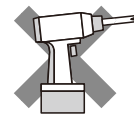
▲ 注 意



- 建付け調整をして、本体と上レールのかかりを5mm以上にしてください。扉が倒れて、ケガをするおそれがあります。

本体の調整上のお願

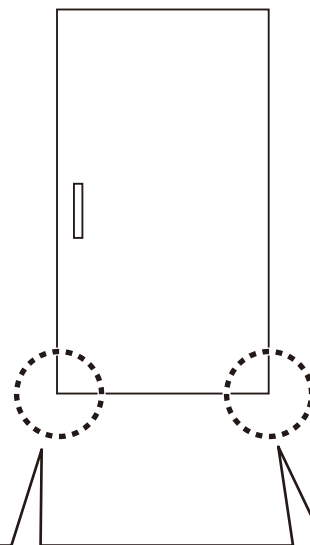
- 製品が破損する原因になるので、必ず手回しドライバーで調整してください。



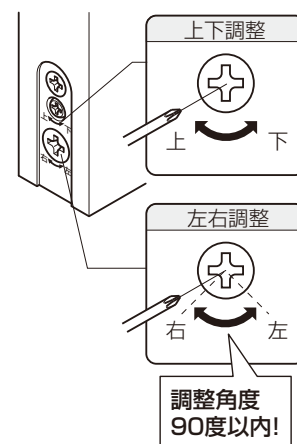
**電動
ドライバー
使用厳禁**

● 建付け調整について

- ① 上下調整 (上4mm、下2mm)
ドライバーで右に回すと本体が上がり、左に回すと下がります。
- ② 左右調整 (左右2mm)
ドライバーで右に回すと本体が右へ、左に回すと左に動きます。



● 建付け調整



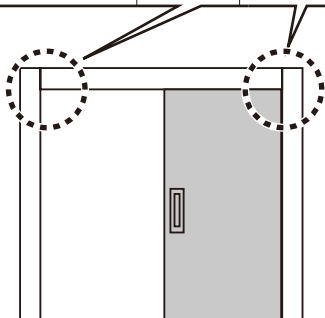
4 建付け調整 (枠側)

調整上のお願い

- ソフトモーションが作動しないので、受け部品の高さ調整を実施してください。

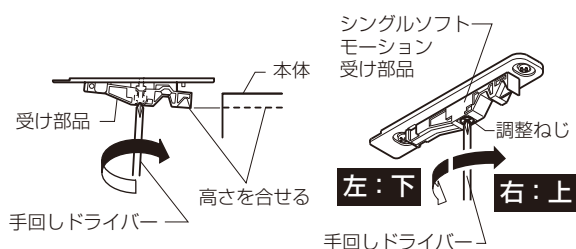
※初期設定：受け部品の調整を一番上げ切った状態

	戸先	戸尻
シングルソフトモーション	A	B
ダブルソフトモーション	A	A
ブレーキ	B	—



A

●調整方向について



シングルソフト
モーション
調整動画



973032775002

A：ソフトモーション受け部品の高さ調整

- ①ドライバーで右に回すと受け部品が上がり、左に回すと下がります。

B：ブレーキの調整

ブレーキ力調整

- ①ドライバーで右に回すとブレーキ力が強くなり、左に回すと弱くなります。

ブレーキの左右調整

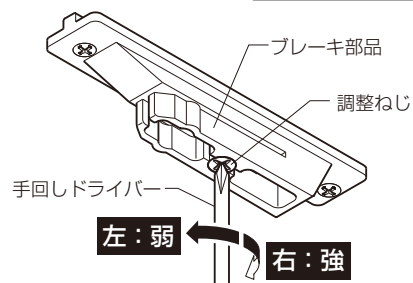
- ①ブレーキ部品の固定ねじをゆるめ、本体を途中まで閉じてください。

- ②片側の固定ねじを締め、本体を開けて反対側の固定ねじも締めてください。

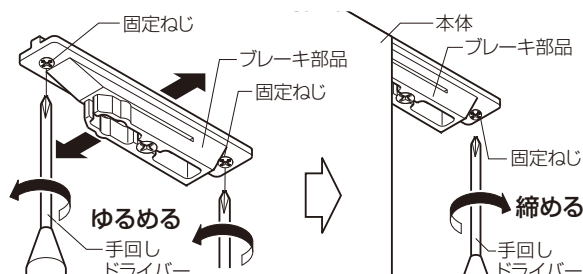
B

●ブレーキ力の調整について

シングルソフトモーション
ブレーキ

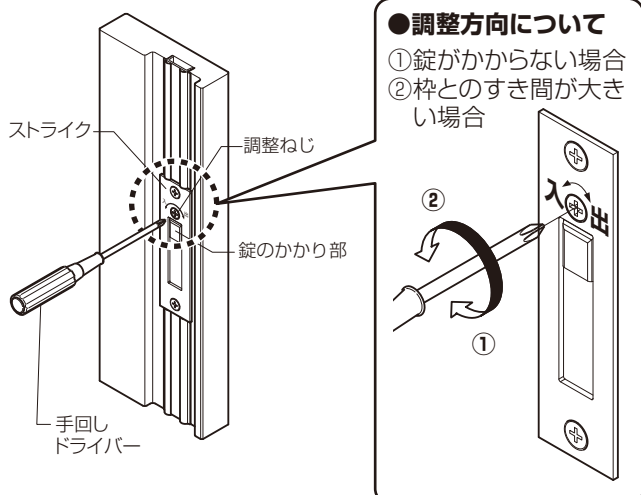


●ブレーキの左右調整について



●引戸錠のかかり調整

- ①錠がかからない場合、右に回してください。
- ②枠とのすき間が大きい場合、左に回してください。



●調整方向について

- ①錠がかからない場合
- ②枠とのすき間が大きい場合

Ⅷパッキンの取付け(引違い4枚建て) 別売品

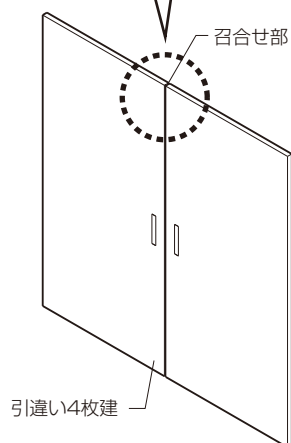
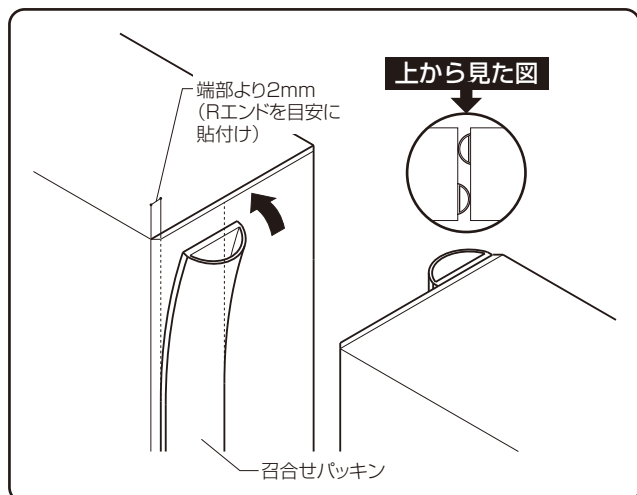
パッキン取付け上のお願ひ

パッキンが剥がれる原因になるので

- 本体吊込み・建付け調整を行ってから貼付けてください。
- 貼付け面のホコリ・汚れ・油分を取り除いて貼付けてください。

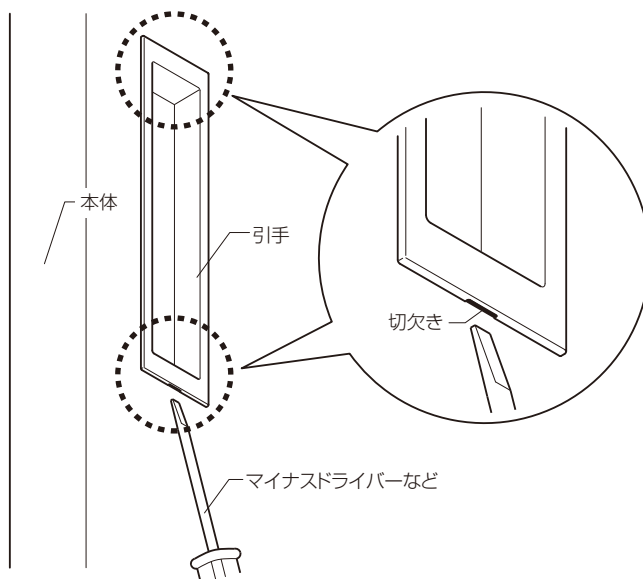
●パッキン裏面のリケイ紙を剥がし、図の位置に貼付けます。

※パッキンは長めなので現場でカットしてください



Ⅸ引手の取外し方法

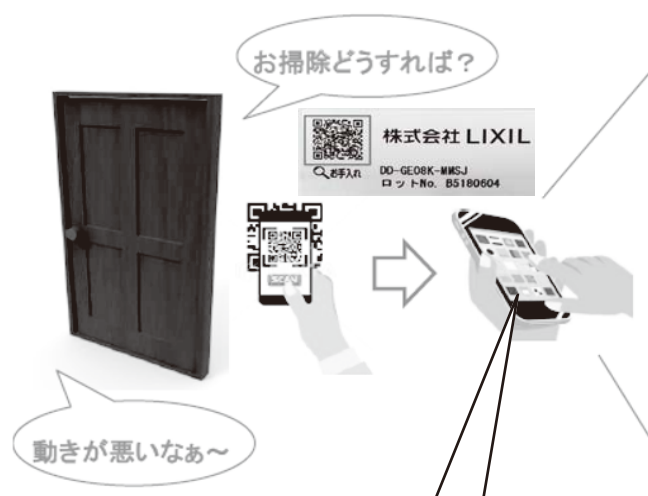
- マイナスドライバーなどを切欠きに入れて外してください。
- ※化粧面にキズを付けないようにしてください。



Ⅶ 困った場合の対処

製品ラベルの二次元バーコードを読み取ると、メンテナンス情報にアクセスできます。

※製品ごとに合わせた情報を公開しています。

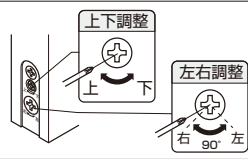
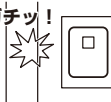
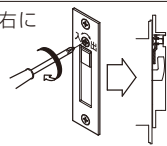
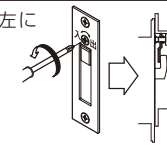
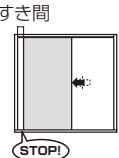
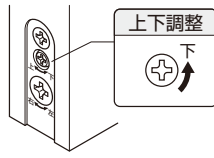
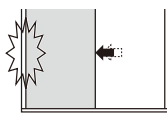
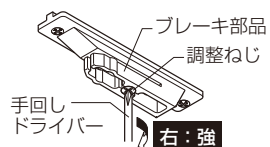
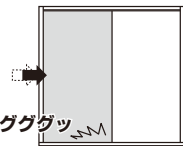
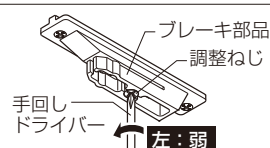
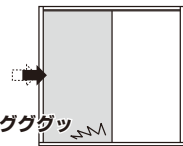
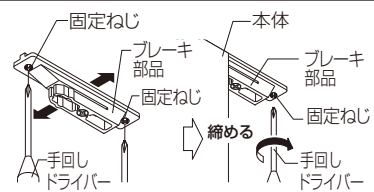
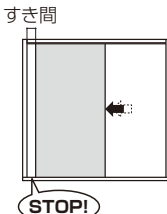
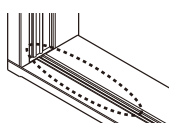
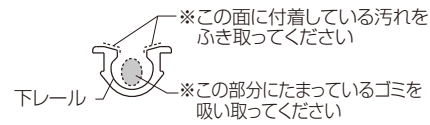
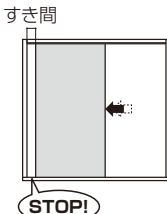
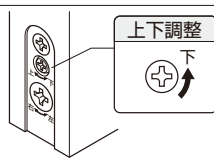
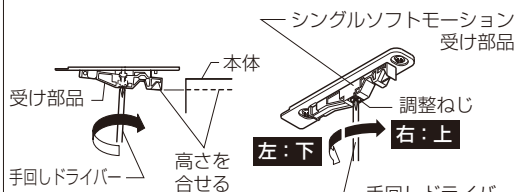
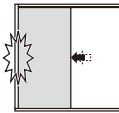


●スマホ画面

○お客さまサポート

- ▲ 安全にお使いいただくために (+)
- 🔍 よくあるお問い合わせ (+)
- 🧹 お手入れ・お掃除 (+)
- 📖 取扱説明 (+)
- 🔧 調整方法 (+)
- ⚠ 故障かなと思ったら (+)
- 🔧 施工説明 (+)
- 🛒 部品購入 (🔍)
- 📞 お問い合わせ (+)
- 👤 修理のご依頼 (🔍)
- 👤 リクシルオーナーズクラブへのご登録 (🔍)

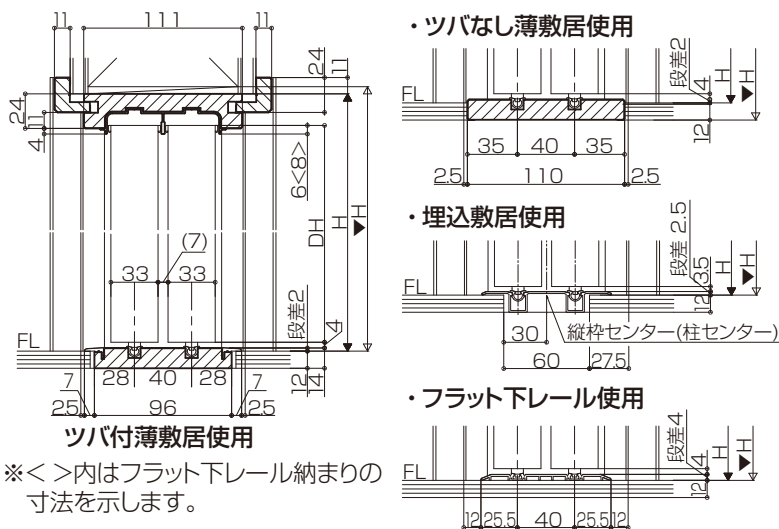
■異常時の対処方法

区 分	現 象	チェックポイント	対処方法
共通	本体同士が当たる 	●戸車調整が必要	戸車の左右調整をしてください。 ※左右調整ねじの可動範囲は90°です。これを超えて無理に回さないでください。 
	鍵がかからない ガチッ！ 	●ストライク調整が必要	ストライク調整ねじを右に回してください。 
	鍵が甘い (縦枠と本体戸先に すき間がある) 	●ストライク調整が必要	ストライク調整ねじを左に回してください。 
ブレーキ	閉まり きらない すき間 	●本体がブレーキと接触している。 	戸車を下げてください。 
	ブレーキが弱い 	●ブレーキ力調整が必要	ブレーキ調整ねじを右に回してください。 
	ブレーキが強い (開けはじめが重い) 	●ブレーキ力調整が必要	ブレーキ調整ねじを左に回してください。 
	グググッ 	●ブレーキ左右調整が必要	固定ねじをゆるめ、本体を閉めて位置合わせをしてから固定ねじを固定してください。 
ソフト モーション	閉まりきらない すき間 	●下レールに粉塵やゴミがたまったり付着している。 	下レールを清掃してください。 
	閉まりきらない すき間 	●本体がソフトモーション受け部品と接触している。 	戸車を下げてください。 
	本体があおる ガタッ！ 	●ソフトモーション受け部品の調整が必要	調整ねじを回して受け部品の高さを調整してください。 
	ソフトモーションが作動しない 		

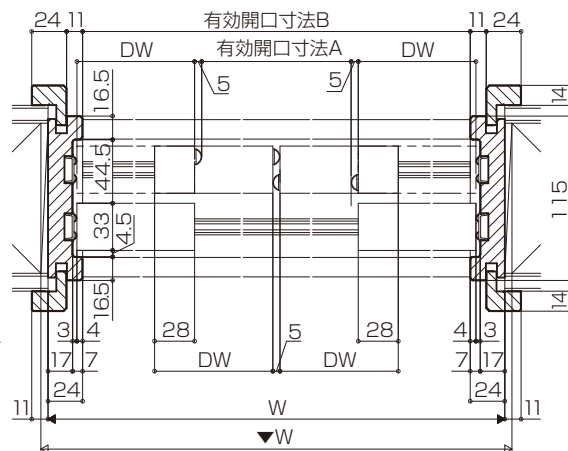
■納まり図

■室内引戸 Vレール方式 引違い4枚建 ケーシングタイプ

●縦断面図



●横断面図



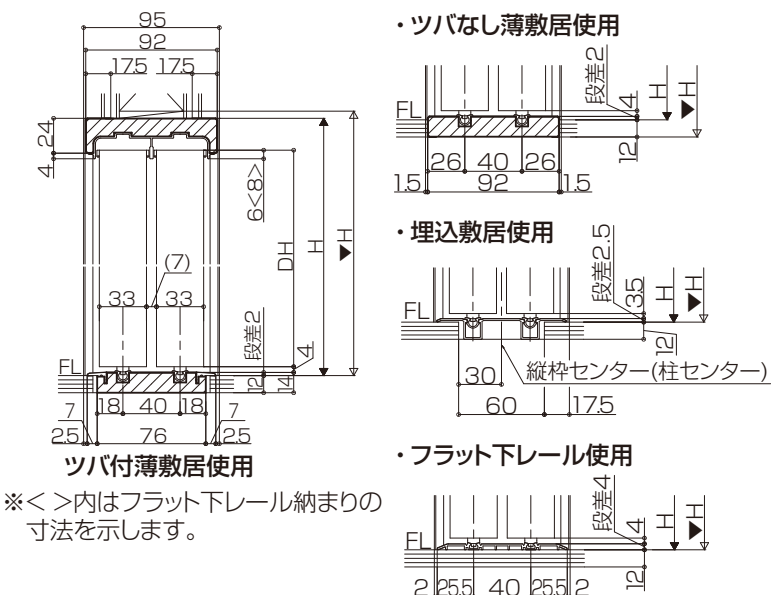
W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
W32(3253)	1571	3205

H呼称(枠外寸法)
H20(2023)

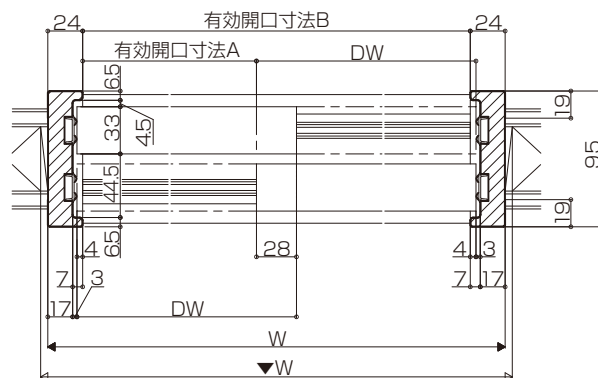
※枠の見込み寸法が変わっても、敷居の位置は縦枠のセンターより共通の位置となります。

■室内引戸 Vレール方式 引違い2枚建 ノンケーシングタイプ95

●縦断面図



●横断面図



W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
W16(1644)	784	1596
W18(1824)	874	1776

H呼称(枠外寸法)
H20(2023)

※枠の見込み寸法が変わっても、敷居の位置は縦枠のセンターより共通の位置となります。

MEMO
